

平成29年度  
第16回救急部カンファレンス

— 骨折 —

整形外科  
江口 明生

骨折 (FRACTURE) とは

直達もしくは介達外力によって  
骨の一部が解剖学的連続性を絶たれた状態

- ⌈ 外傷性骨折
- ⌈ 疲労骨折
- ⌈ 病的骨折

骨折の診断のために重要なこと

1. 病歴聴取・・・患者自身あるいは受傷現場の目撃者  
受傷機転により骨折の部位、病態を推定できる
2. 局所診察・・・腫脹、皮下出血斑、圧痛、変形  
視診と触診が大切
3. 単純X線・・・最も簡便で有用な補助診断法  
必ず2方向以上、小児の場合両側撮影して比較
4. CT・・・解剖学的に複雑な部位における診断的価値は高い

応急処置の基本

<p>R (Rest, 患部の安静) 悪化の防止</p> <p>I (Ice, 冷却) 出血の抑制と疼痛の緩和</p>	<p>応急処置の基本はRICE処置</p>	<p>応急の外固定術</p> <p>病院外で医療用材料がない場合は、板や布で固定して搬送する</p>
<p>C (Compression, 圧迫) 出血と腫脹の軽減</p> <p>E (Elevation, 挙上) 出血と腫脹の軽減</p> <p>子どもたちには、ケガしたら「あれおきてあげた」と教える。 【あ（安静）れ（冷却）おきて（圧迫）あげた（挙上）】</p>		

骨折の外固定

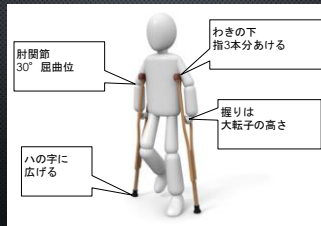
- Gips (独語)・・・石膏  
Cast (英語)・・・ギプス包帯  
(現在は樹脂を含んだガラス繊維)  
Splint・・・副子 (添え木)



様々な骨折に対する固定法

<p>クラビカルバンド</p>	<p>ニーブレイス固定</p>	<p>手関節ギプスシーネ固定</p>	
<p>三角巾固定</p>	<p>アンクルサポーター</p>	<p>足関節ギプス固定</p>	

## 松葉杖の合わせ方



## 基本肢位と良肢位

基本肢位・・・自然起立位で体幹、四肢の諸関節が取る肢位

良肢位・・・関節が動かなくなった場合に日常生活において支障の少ない肢位

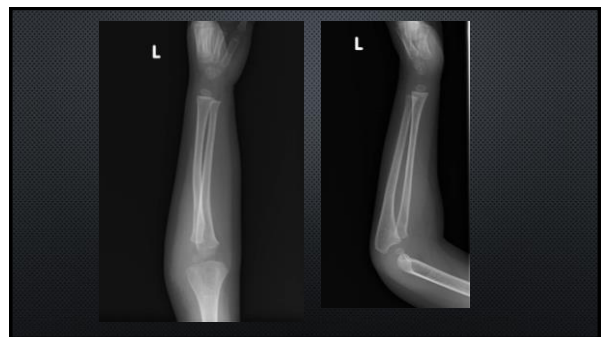
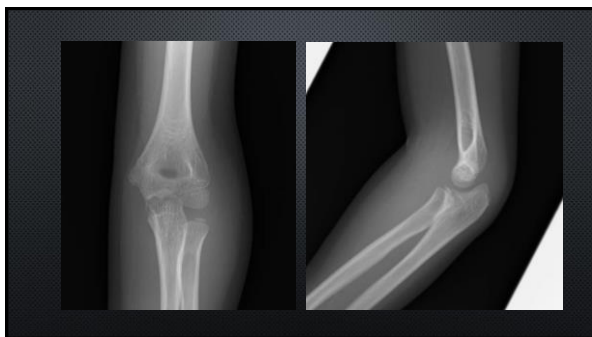
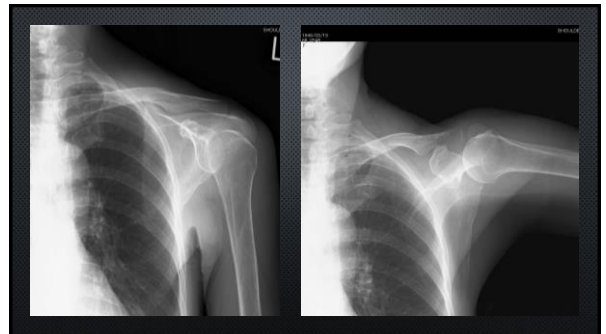
肘関節：90° 屈曲位

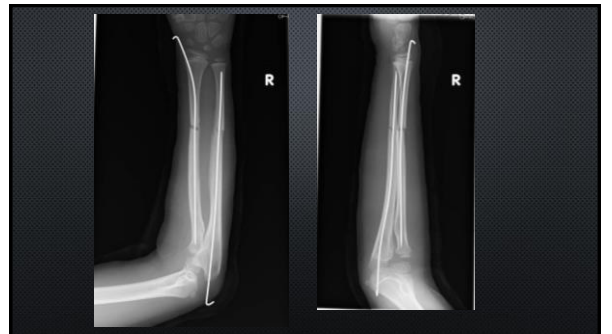
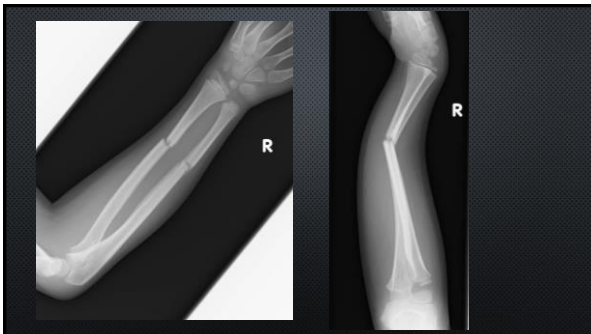
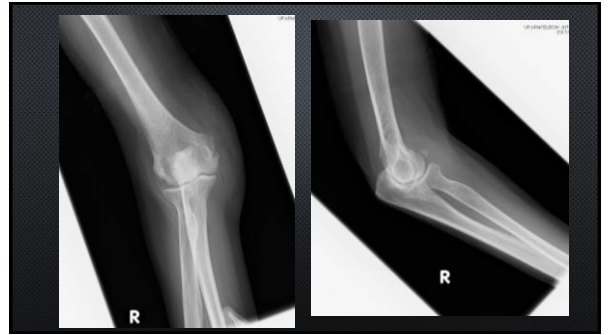
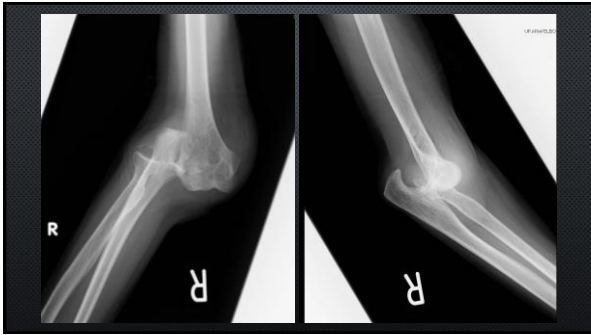
手関節：10~20° 背屈位、回内外中間位

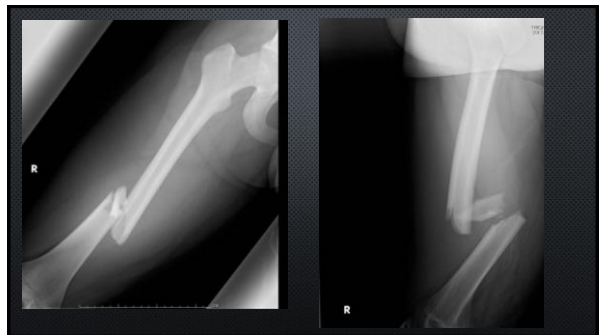
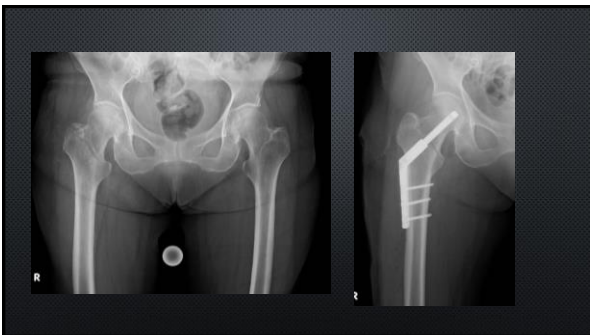
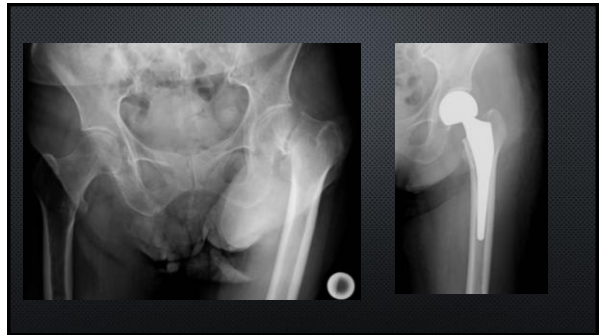
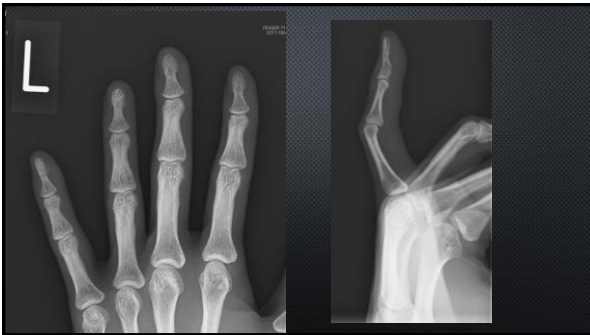
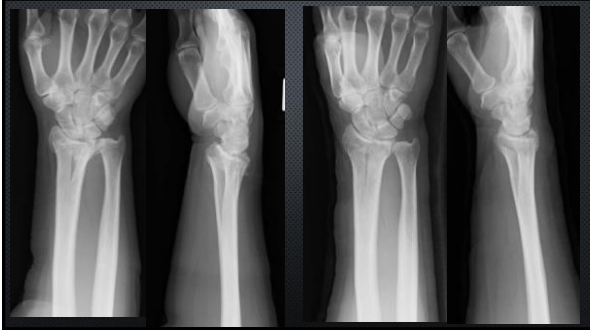
膝関節：10~20° 屈曲位

足関節：底背屈中間位

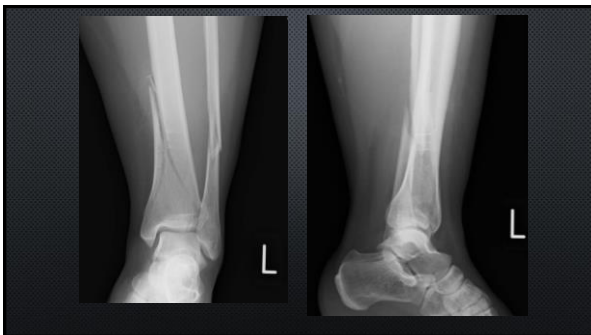
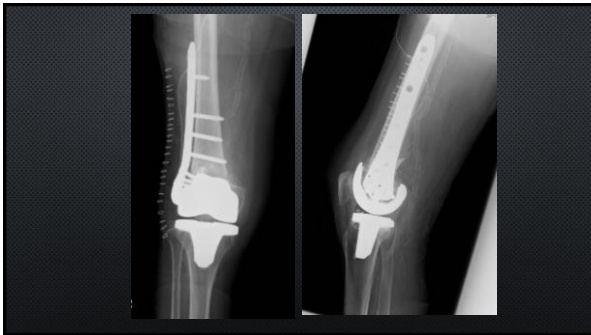
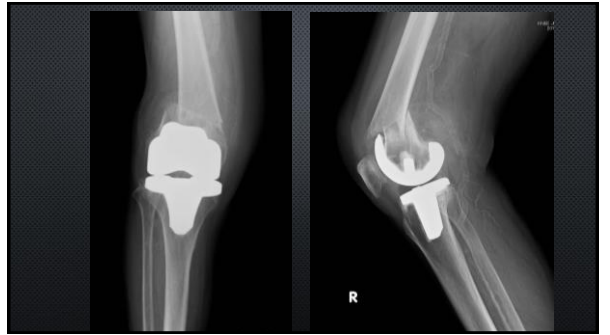
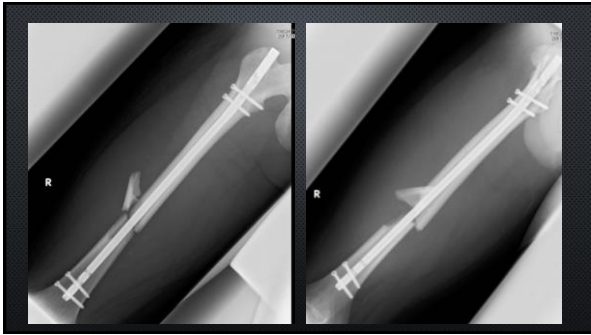
## 症例供覧

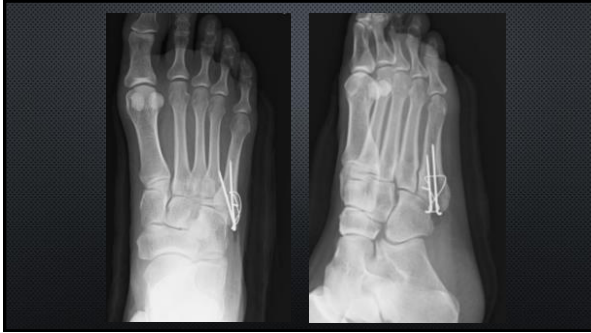












### TAKE HOME MESSAGE

- 1.骨折の診断にもっとも大事なこと  
病歴聴取と視診、触診 患者さんを良く見てください！！
- 2.骨折とは骨の解剖学的連続性が絶たれた状態  
単純X線で骨の連続性を確認 レントゲンを良く見てください！！
- 3.骨折が疑われるときはとりあえず外固定  
良肢位で褥瘡に注意 是非一緒に固定してみましょう！！